

いわくにし

NO. **143**
平成30年8月15日発行
2018

JAだより

第70期通常総代会開催

J A 岩国市第70期通常総代会



J A 岩国市第70期通常総代会



J A 岩国市第70期通常総代会



第70期 通常総代会開催

6月23日(土)、岩国国際観光ホテル4階錦雲閣において、第70期通常総代会を開催いたしました。

総代366名(本人出席300名、代理人出席10名、議決権行使書提出56名)の出席があり、第70期(平成29年度)事業報告及び剰余金処分案、第71期(平成30年度)事業計画案など全12議案が審議され、全議案とも承認、可決されました。

付議事項

《第1号議案》

第70期(平成29年度)事業報告及び剰余金処分案の承認の件

《第2号議案》

第71期(平成30年度)事業計画案の承認の件

《第3号議案》

平成30年度における理事の報酬に関する件

《第4号議案》

平成30年度における監事の報酬に関する件

《第5号議案》

理事に対する役員退職慰労金支給の件

《第6号議案》

監事に対する役員退職慰労金支給の件

《第7号議案》

定款の一部変更の件

《第8号議案》

規約の一部変更の件

《第9号議案》

信用事業規程の一部変更の件

《第10号議案》

規約及び諸規程の廃止承認の件

《第11号議案》

特定農地貸付規程の制定の件

《第12号議案》(付帯決議)

総代会決議事項の補正変更の委任に関する件

JAグループ山口 自己改革の達成に向けた特別宣言

JAグループ山口は、「第39回JA山口県大会」決議に掲げた基本目標である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現に向け、創造的自己改革を全力で推し進めている。

特に、合併JAにおいて経営・組織基盤を確立し、合併効果を最大限発揮するために、現行12JAで掲げる自己改革目標の達成は不可欠となる。

本年度は、「JAグループ山口自己改革プラン」に定めた集中取組期間の最終年度であり、JAは自己改革工程表の取り組みを必ず成し遂げ、その成果と協同組合組織としての存在意義・価値を組合員・地域住民へ幅広く伝えていかなければならない。

そのため、我々は総力を結集し、以下の事項に取り組むこととする。

記

1. 「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として、地域からこれまで以上に必要な組織と評価されるよう、組合員・役職員が一体となって自己改革工程表に掲げる目標を完遂する。
2. 組合員訪問や支所運営委員会の設置・運営等を通じて、組合員との徹底した対話を継続するとともに、地域住民へJA事業・活動の積極的な情報発信を行い、より開かれた協同組合組織を目指す。
3. 平成31年4月1日の「JA山口県」設立に向けて、JAグループ山口一丸となり、組織体制の確立に取り組む。

以上、宣言する。

平成30年6月23日
岩国市農業協同組合
第70期通常総代会

組合員資格のご確認について

組合員資格のご確認をお願いいたします

平素より各事業にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。組合員の皆さまにおかれましては、組合員資格について変更がないかご確認をお願いいたします。

下記に該当する方は、お手数をお掛けいたしますが、最寄りの支所までご連絡をお願いいたします。

1. 准組合員から正組合員への資格変更

- ① 農業経営にかかる耕作面積に異動があり、耕作面積が2アール以上になった方
- ② 1年のうち30日以上農業に従事するようになった方

2. 正組合員から准組合員への資格変更

- ① 農業経営にかかる耕作面積に異動があり、耕作面積が2アール未満になった方
- ② 1年のうち30日以上農業に従事しなくなった方

3. その他

- ① 相続による名義変更、脱退等が必要な方

J A 岩国市財務内容

第70期 貸借対照表

組合の資産、負債、純資産などの財産状況を表したものです。
(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

運 用	信用事業資産	102,330,261	調 達	信用事業負債	99,886,017
	(うち現金・預金)	(87,918,132)		(うち貯金)	(99,671,728)
	(うち有価証券)	(1,021,150)		(うち借入金)	(1,710)
	(うち貸出金)	(13,545,215)		(うちその他の信用事業負債)	(212,579)
	(うちその他の信用事業資産)	(54,189)			
	(うち貸倒引当金)	(△ 208,426)			
	共済事業資産	11,215		共済事業負債	290,450
	経済事業資産	23,824		経済事業負債	5,856
	雑資産	69,354		雑負債	440,176
	固定資産	1,571,849		諸引当金	233,496
	外部出資	3,415,981		再評価に係る繰延税金負債	232,787
	繰延税金資産	96,164		純資産	6,429,865
合	計	107,518,650	合	計	107,518,650

第70期 損益計算書

この一年間の経営成績を表したものです。

(平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

費 用 ・ 当 期 利 益	事業費用	205,558	収 益	事業収益	1,297,456
	(うち信用事業費用)	(116,103)		(うち信用事業収益)	(904,363)
	(うち共済事業費用)	(28,633)		(うち共済事業収益)	(327,837)
	(うち購買事業費用)	(46,111)		(うち購買事業収益)	(51,383)
	(うち販売事業費用)	(7,338)		(うち販売事業収益)	(11,303)
	(うち利用事業費用)	(127)		(うち利用事業収益)	(788)
	(うち指導事業支出)	(7,243)		(うち指導事業収入)	(1,780)
	事業管理費	1,053,923		事業外収益	36,417
	事業外費用	9,119		特別利益	10,868
	特別損失	139,460			
法人税・住民税・事業税	536				
法人税等調整額	△ 12,619				
当期損失金	51,235				
合	計	1,344,743	合	計	1,344,743

剰余金処分

(単位：千円)

1. 当期末処分剰余金	569,729
(うち当期損失金)	(51,235)
(うち当期首繰越剰余金)	(503,264)
(うち土地再評価差額金取崩額)	(21,222)
(うち農林年金対策積立金取崩額)	(10,016)
(うち本所建替工事積立金取崩額)	(86,462)
2. 特別積立金取崩額	239,000
3. 剰余金処分額	263,437
(1) 任意積立金	243,505
税効果調整積立金	4,505
退職給付会計調整積立金	222,000
給与調整積立金	17,000
(2) 出資配当金	19,932
4. 次期繰越剰余金	545,291

剰余金処分後準備金(積立金)の内訳

(単位：千円)

法定準備金	利益準備金	1,139,454
任意積立金	税効果調整積立金	102,182
	農林年金対策積立金	115,193
	本所建替工事積立金	1,403,985
	退職給付会計調整積立金	222,000
	給与調整積立金	17,000
	特別積立金	1,536,000
	繰越剰余金	545,291
合	計	5,081,106

自己資本比率
18.82%

(国内の自己資本比率の基準は4%以上です。)

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

地区別総代協議会Q&A

平成30年6月1日(金)より、管内6地区におきまして地区別総代協議会を開催いたしました。その際にいただいたご質問・ご意見の一部をご紹介します。今後も、組合員・地域の皆さまからの意見をしっかり聴き、組合の組織・事業・運営に反映してまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

Q 特定農地貸付規程について、もう少し具体的に説明していただきたい。

A 農地の有効活用、新たな担い手の確保及び農家以外の方が農業への関心と理解を深めるため、当組合が自己改革の一環とし市民農園の設置・運営に取り組むにあたり、規程を制定するものです。余分に収穫出来たものは市場に出荷出来るということで、出荷者の増加も期待できます。農園は約600㎡で22区画を考えています。

Q 休眠預金について、JA岩国市にはどれくらいあるのか。また、貯金が1,000億円を切ったが、これに対する歯止めの対策はどう考えているのか。

A 休眠預金につきまして、年度によってその金額は違いますが、これまで入金や出金等が10年以上ないお客様に対して通知を行い、所在が確認できないお客様の貯金は雑益としてJAの収益となりました。この場合でもお客様はいつでも払戻しを受けることは可能となりますので、ご安心いただきたいと思います。また、貯金残高は偶数月に年金が振り込まれた際には1,000億円の残高を維持していますが、生活費等で払い出される金額も多く、相続案件発生時には、相続人が県外にお住いの場合多額の貯金が出流するなど流出防止に苦慮しています。しかしながら、今後とも各種キャンペーンの実施や年金受給口座の獲得、定期積金契約をメインとした新規お客様の獲得ならびに、既取引のあるお客様への深耕などに努めてまいりますので、よろしくをお願いいたします。

Q ポイント制度は合併したら廃止になるのか。

A 現在JA岩国市は貯金等のポイント付与により還元していますが、合併しましたらポイント付与・還元基準が統一されるとともに、県内各JAの直売所等での付与・還元が可能となるよう、システムの整備が行われる予定です。ポイント制度は合併しても廃止されないと考えています。

Q 昨年11月の臨時総代会で、営農指導員の増員についての話があったが、その後どうなったのか教えていただきたい。

A 営農指導体制につきましては、現在の3名から4名体制となり1名増員となります。現在、若手職員1名が筆記試験まで合格しており、今年度の実地講習で正式に営農指導員の資格を取得する予定です。農家が必要とする知識を習得させ、営農指導員としての資質向上に努めます。

Q 現在検討しておられる営農・経済部門の拠点となる「営農センター」について、愛宕地区に設置していただきたい。愛宕地区には青果市場もあり、岩国市内で一番購買の利用高が多いと思う。

A 営農センターについては現在協議・検討中です。これから詳細について検討を進めていくことになります。

Q 自己改革について、「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」に取り組むということだが、農業生産資材については、合併を機に少しでも安価に生産者の手に入るよう、全農を通さずにJAと業者が直接取引をする方法を取っていただきたい。

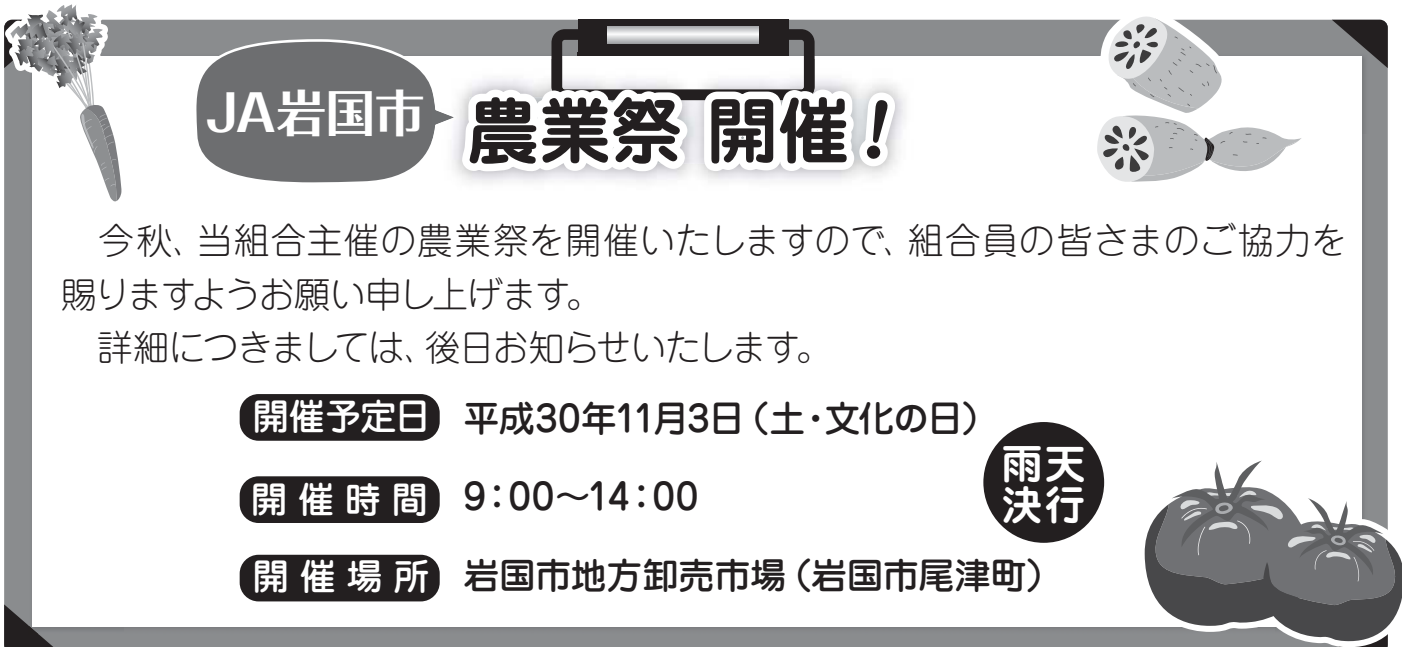
A 農業生産資材が少しでも安価になることは、自己改革の最重要課題だと思っております。品目の集約や合併におけるスケールメリットによる創出により、農業生産資材価格の引き下げに努めます。

Q JA岩国市は都市型農協であり信用事業で利益の大半を占めている。今後は農業振興に力を入れていくという事だが、営農・経済事業の拡大という課題についてどう考えているのか。信用・共済事業がうまくいっているのは外務員の努力が大きいと思う。外務員の訪問による高齢者見守り活動にも非常に感心している。

A JAは総合事業ですので、信用・共済事業だけでなく、これからは営農・経済事業にも力を入れていこうと考えています。そのためには、まず信用・共済事業で経営基盤を確立し、その上で自己改革の基本理念である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向けて、営農・経済の拠点となる営農センターを設置し、農業振興に取り組みます。さらに合併後は経営資源の再配置等により、営農・経済事業がより強化される予定です。

Q 青果市場への出荷量が生産者の高齢化等により減少し、市場運営が非常に困難になっていると思うが、今後の出荷量の増加対策と販売体制についてどう考えているのか。

A JAにとって青果市場は非常に重要だと考えています。青果市場を活性化するためには出荷量の増加が重要です。生産者の方に今まで以上に出荷してもらいたいと思いますし、また、出荷者を増やすために農業入門塾の開講や市民農園の開園を行い、担い手の掘り起し、新規就農者の確保・育成を図ります。また、学校給食への共同出荷の増加、農家への生産出荷指導にも取り組みます。



JA岩国市 農業祭 開催!


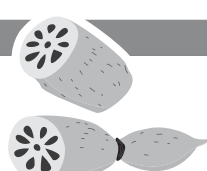

今秋、当組合主催の農業祭を開催いたしますので、組合員の皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。
詳細につきましては、後日お知らせいたします。

開催予定日 平成30年11月3日(土・文化の日)

開催時間 9:00~14:00

開催場所 岩国市地方卸売市場(岩国市尾津町)

雨天決行



謹んで大雨による災害のお見舞いを申し上げます

このたびの大雨により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と、皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

岩国市農業協同組合



年金無料相談会のお知らせ

9:00~15:00

9月4日(火) 灘支所
10月2日(火) 東支所
11月6日(火) 海土路支所
12月4日(火) 営業課

是非、お気軽にお越しください。お待ちしております!



つながり



JA岩国市自己改革
～地域の皆さまとともに～



4/
26

愛宕小学校 植えつけ体験

経済部
つながり



4月26日(木)、愛宕小学校3年生児童がJA岩国市のれんこん体験圃場で植えつけを体験しました。

この体験はれんこん農家の協力のもと岩国の特産品である「岩国れんこん」を言葉だけでなく実際に触れてより深く知ってもらおうと、17年前に始まり毎年行っています。

当日は、絶好の植えつけ日和となり、子供たちは今すぐにもハス田に入りたくてうずうずしていました。農家の方かられんこんの植えつけ方を学んだ後は、待ってましたと言わ

んばかりにハス田に入っていく子供たち。

初めて入るハス田に、「わ～!ぬるぬるする～」「すごく深い!」と、歓声が

あがり、作業を終えハス田をあがるころには、シャツがドロドロになっている子もいました。

これから子供たちは、れんこんの生育を観察していく中で郷土の歴史・文化について学んでいきます。

「岩国れんこん」の歴史は、村本三五郎という篤農家が約200年前に、岡山県から備中種を持ち帰り、品種改良を重ね、現在に至ったといわれています。

次に子供たちに会えるのは、10月予定のれんこん掘り取りの時です。

その時には丸々太ったれんこんを両手で持ち上げ「れんこん取ったど～!!」と元気いっぱい声を聞かせてくれることでしょう。



5/
19

農業入門塾

経済部
つながり



5月19日(土)、JA岩国市とJA山口東が岩国地域における農業振興と新規担い手の確保及び育成を目的とする「農業入門塾」の開講式をJA山口東の本所にて行いました。

昨年に続きの開講となり、27名に参加いただきました。

毎月1回(原則、第3土曜日)開催し、講義・実習を中心に農業に関する基礎知識や栽培技術の習得を目指す、体験型の入門研修を行います。

開講式の後、JA山口東の営農技術顧問である江本透氏から、スイートコーン・エダマメ・白ウリ・ナス・トマト等についての説明があり、受講生は一言も臆き漏らすまいと熱心にメモを取られ、知識を深められていました。



5/
18・24

バケツ稲 は種作業

経済部
つながり

5月18日(金)に岩国小学校5年生、5月24日(木)には愛宕小学校5年生を対象としたバケツ稲作りを行いました。毎年実施しているこの授業は若い世代に農業について少しでも知って

もらおうと食農教育の一環として行っています。今回の授業は、子供たちがあらかじめ用意していた芽だし済みの種もみをバケツに植えるところから始めます。

作業の工程は、バケツに土と肥料を入れ、土の高さまで水を張ります。そこに、種もみを二個分の深さになるように植えていきます。

「先生、こんな感じですか?」「僕のちゃんとできたー!」と子供たちは初めての体験にわくわく目を輝かせながら作業を楽しんでいました。

子供たちのバケツ稲は10月ごろ収穫予定となっています。また10月ごろに元気いっぱいの笑顔で収穫の作業をしてほしいですね。





女性部総会

5月21日（月）、錦見供用会館にて「第64回JA岩国市女性部通常総会」が開催されました。

初めに「JA女性組織綱領」を唱和し、塚田由美子女性部長が挨拶、次に来賓の方々のご祝辞を賜りました。議事では「平成29年度活動報告並びに収支決算の承認」、「平成30年度活動計画（案）」、「岩国玖珂地区女性部の統合」が審議され、承認、可決されました。



最後に、参加者73名でJA女性の歌「明日輝くために」を斉唱し、無事に総会を終えました。

引き続き、「熱中症予防と食中毒予防教室」という題目で、山口県東部ヤクルト販売(株)管理栄養士 中原 里菜氏による講演会が開催されました。「熱中症の原因と対策」や、食中毒防止の3原則「つけない・増やさない・やっつける」を学び、免疫力アップ体操で締め括りました。これからも体調に気を付けながら毎日元気に過ごしていきましょう。

たくさんのご参加、ありがとうございました。



第1回 女性部学習講座

7月4日（水）、平成30年度 第1回女性部学習講座が開講されました。今回は「家の光」に掲載されたレシピを活用した「家の光料理教室」です。

メニューはこちらの6品

1. サケとミョウガの混ぜご飯
2. ミネストローネ
3. ミルクポテトサラダ
4. やみつきキュウリ
5. 和風ほめられ酢豚
6. かたくり餅



ミルクポテトサラダと和風ほめられ酢豚は、女性部オススメの「ほめられ酢」を使って、さっぱりと仕上げ、暑い夏でもたっぷりいただけます。豪華なメニューですが、1品1品の作り方は意外と簡単で、協力しながら手際よく調理していただきました。そして、もぐもぐタイムにはボリューム満点の昼食に「美味しいねー」の大合唱となりました。



得意の手仕事「お手玉作り」

7月13日（金）、農業祭の出品に向けて「お手玉作り教室」が開催されました。当日は女性部役員10名が参加し、リーダーの指導の下、柄の違った4枚の布を器用に縫い合わせていきました。

得意の手仕事に、はりきって針を運びますが、仲間が集まれば会話も弾み、楽しみながらお手玉を作ることができました。11月の農業祭までに出来るだけたくさんのお手玉を完成させ、お客様に提供したい、喜んでいただきたい、との思いで縫い上げていきました。

毎年恒例の農業祭では、手作り作品の販売はもちろん、岩国の郷土料理「大平」や、うどんの販売、喫茶など女性部総出で参加します。みなさまのお越しを、可愛く縫いあがったお手玉と共にお待ちしております。



Health Point

夏の糖対策のヒント

JA山口厚生連

保健師 由良美絵

暑くなってくると、ジュースや氷菓子が欲しくなりますね。砂糖は疲れた時や空腹時に速やかに血糖値を上げ、脳や筋肉の働きを回復させます。しかしジュース等の形で一度にたくさん糖分をとると、急に血糖値が上がります。飲食後の血糖値の急上昇を「血糖値スパイク」と言い、糖尿病や肥満だけでなく認知症やがんのリスクも上げるとして注目されています。

また、昼は冷たいそうめんだけといった糖質に偏った食事にもなりがちです。これは血糖値の問題だけでなく、栄養バランスの乱れから夏バテの一因になります。夏の血糖値対策、考えてみませんか？

☆意外に多いジュース・アイスの糖分

WHO(世界保健機構)では、砂糖の摂取量を1日25g程度まで抑えるべきとしています。ジュースのエネルギーを砂糖の量で示した図で見ると、1本飲んだだけで軽く1日の砂糖量を超えてしまうものもあります。健康に良いと考えがちな野菜ジュースや100%果物ジュースにも意外と多くの糖が隠れている事が分かります。

水分補給の基本は水やお茶にし、ジュースはおやつ感覚で少量にとどめるに限りです。ジュース類はなるべく小さなパックで購入する等、毎日飲み続けなくて済む工夫も必要ですね。

アイスクリームや氷菓子もエネルギー表示を確認し、糖質を控えてある商品や小さいものを選びましょう。

☆そうめんを食べる時には…!?

適量の目安が分かりにくく、つい食べ過ぎてしまいがちなそうめんは、一束50gの乾麺で1.5束分が一食の目安です。血糖値の急上昇を抑えるためには、そうめん単品で済ませず、肉や魚、卵等のタンパク質源のおかずと、食物繊維が豊富な野菜のおかずを組み合わせる事がポイントです。

また冷たいものばかりでは胃に負担がかかるので、作り置きのおかずを温めて食べる等、温かいものを添える事もおすすめです。

糖質と上手に付き合ひ、崩れがちな食生活を整えて夏を元気に過ごしましょう。

☆飲み物に含まれる糖分を知ろう!!

	スティックシュガー(1本3g)に換算すると…
コーラ(350ml)	14本(42g)
缶コーヒー(小)	6本(18g)
カロリーオフ飲料(350ml)	6本(18g)
100%オレンジジュース(200ml)	8本(24g)
野菜ジュース(200ml)	5本(15g)

※特定保健指導学習教材集より改変。飲み物のエネルギーを砂糖のエネルギー量に置き換えて表示したもの。

本所建替工事について

本所建替工事は計画通り順調に進んでおり、来年の1月に建物は完成、信用新店舗は来年の2月12日(火)に営業開始の予定です。組合員・利用者の皆さまには完成まで大変ご不便をおかけしますが、新店舗では全自動貸金庫やATM 3台を設置して、皆さまをお迎えする予定です。

JA岩国市本所 完成予想図(外観)



本所 営業課



- ① 中原 朋恵 (なかはら ともえ)
- ② 音楽を聴くこと
- ③ 明るく元気です。笑顔で頑張っていきますのでよろしくお願いします。

経済部 営農販売課



- ① 大藤 優依 (おおとう ゆい)
- ② 運動と食べること
- ③ 負けず嫌い 心配性

新入職員紹介



この春、5名の新入職員が入組しました!!

- ①氏名
- ②趣味・特技
- ③自分の性格

灘支所



- ① 犬伏 葵 (いぬぶし あおい)
- ② 音楽を聴くこと
- ③ おおざっぱ マイペース

川下支所



- ① 堀本 詩乃 (ほりもと の)
- ② 散歩やスポーツなど
- ③ 明るい 負けず嫌い

岩国支所



- ① 中室 夢来 (なかむろ ゆら)
- ② DVD鑑賞・Shopping
- ③ 負けず嫌い せっかち

残暑お見舞い

申し上げます

平成三十年晩夏

JA岩国市

役職員一同